



事業概要【世代促進温室整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	109,803千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	老朽化した温室から新たに整備する世代促進温室へ機能を移転することにより、品質及び収量性に優れた水稲及び小麦品種の開発体制を強化する。これにより、生産者は質の高い農産物の安定生産が可能となり、生産者の農業所得が向上し、農業出荷額が増加することで本県水田農業が持続的に発展する。		
整備内容・利活用方策	<p>天窓・側窓及び各カーテンの自動開閉装置を導入することで室温や日長の自動制御を可能とする新たな世代促進温室を整備する。併せて、米のおいしさや小麦の加工適性を数値化する味度メーター及び糊化特性測定装置を整備することで、高品質・多収性の優良品種の開発を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代促進温室整備費：90,303千円 ・既存温室解体工事費：2,851千円 ・測定機器整備費：16,649千円 	 <p>交配の様子</p>	 <p>世代促進温室内（イメージ）</p>
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①米・小麦の出荷額（合計）（+14億円） ②高温耐性品種の作付面積（+2,800ha） ③県内産うるち米一等米比率（+7.8%） ④世代促進温室における供試点数（+96点） 	関連URL	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

【世代促進温室整備事業】補足資料

実施推進主体	委託先	再委託先	備考
愛知県	設計業務については、株式会社トクオに委託。 建築業務については、トヨタネ株式会社に委託。	なし	